



公明党 大泉 一夫 10  
規制緩和地域への市の取組

**問**規制緩和を行った市に對して野澤教授は、著書で人口減少などの社会問題等の課題と併せて警告ともいえる提言を示している。市の将来計画は。

**答**都市計画部長 本書書の中では、市街化調整区域内での宅地開発を認め、低密度にまちが拡散したことにより、行政サービスの効率が悪化するなど、将来的に私たちの暮らし

に大きな影響をもたらすとの趣旨を提言されている。本市においても、人口密度を維持することにより、市民の暮らしやすさを確保し、持続可能な

都市経営を行うことが重要であると考え、多極ネットワーク型コンパクトシティのまちづくりビジョンとなる立地適正化計画の策定に努めている。  
**副**都市計画法の規制緩和



やまぶき会 小野澤 康弘 12  
中央通り線の整備取り組み

**問**中央通り線連雀町から仲町交差点区間整備の課題である計画道路幅員の計画縮小について県と協議中とのことだが、整備に向けた市の取り組みは。

**答**都市計画部長 昭和の街並みを生かした新たな魅力ある観光地、商業地として、歩きやすい空間づくりの検討を進めている。川越市地区街づくり推進条例の登録団体であ

る「昭和の街の会」と連携し、条例を活用した地区街づくりルールの策定や都市計画道路の幅員の縮小変更に向けた地区計画制度等の活用について、

県や地区住民との協議を積極的に行うとともに、無電柱化に向けて、電気事業者等の関係機関と調整を図りたいと考えている。  
**副**蓮馨寺界隈の活性化



日本共産党 今野 英子 14  
特養老人ホームの整備を

**問**特別養護老人ホームの待機者は多い状況で、増やしてほしいとの声がある。同老人ホームを市は、今後どのように整備していく考えなのか伺う。

**答**福祉部長 特別養護老人ホームなどの介護サービスの基盤整備については、介護保険事業計画に整備目標量を定め、整備を推進している。今後については、平成30年度か

らの第7期介護保険事業計画の策定の中で、現在の待機者の状況、今後の対象者やニーズの動向、及び保険財政への影響等を勘案しながら検討し、

介護保険事業計画等審議会の審議を経て、目標量を定め整備していく。国の介護基盤整備の緊急対策の動向も注視していく。  
**副**高齢者施策の充実を  
**副**公園整備



民進党 片野 広隆 11  
ヘルメット購入補助の創設

**問**自転車の安全利用条例と共に、子どもや高齢者の安全を更に確保していくため、自転車用ヘルメット購入費に補助金支給を検討していくべきでは。

**答**市民部長 自転車の安全利用に向けた条例については、第10次川越市交通安全計画に基づき、早期に制定を進めていきたいと考えている。  
また、自転車乗用中の

死亡事故に占める頭部外傷による死者の割合が高いことから、自転車乗車用ヘルメットの着用は、自転車を安全に利用する上で大変効果があるものと考えており、今後、先進市の状況などを参考にしながら、補助について前向きに検討していきたい。

**副**自転車の安全利用



市民フォーラム 伊藤 正子 13  
障害持つ方の暮らしを守る

**問**安心・安全な生活のために、設備整備だけでなく、合理的配慮の考え方を事業者や市民に普及することも重要である。市の取り組みについて伺う。

**答**福祉部長 合理的配慮の考え方を、普及するための周知啓発活動を実施することは、重要であると考えている。市では広報川越、ホームページの記事掲載や商工会議所会

員企業及び関係団体へのパンフレットの配布、各種団体への出前講座を通じ、事業者や市民に対し合理的配慮の考え方の普及に努めている。今後、周知啓発活動を継続し、設置を予定している「障害者差別解消支援地域協議会」を通じた情報共有、より効果的な啓発活動の実施に努める。  
**副**障害者差別解消法

**副**初雁公園整備の手法  
**副**安心な保育とは



日本共産党 池浜 あけみ 15  
臨時保育士勤務条件改善は

**問**正規と臨時では給与や休暇に開きがある。正規の病気休暇は90日以内、臨時は2日以内。市は臨時保育士の勤務条件の改善をどう考えているのか。

**答**総務部長 臨時保育士の勤務条件の改善については、他の地方公共団体の同様の職員や民間の保育園に勤務する従事者の状況等に注視し、均衡を失しないように対応した

いと考えている。



**副**初雁公園整備の手法  
**副**安心な保育とは